

由来

軍ヶ浦十五柱神社太鼓おどり

軍ヶ浦太鼓踊りは、阿蘇神社の御分霊をお祭りとするもので、明治初年、河浦町下田の管原神社の太鼓踊りを取り入れたと言われている。祭典の中で御幸の行列が塩振り・獅子・長刀・鉄砲・弓・鷹・旗・提灯・挟箱持ち・鳥毛振り・神官・御神輿と続き、その後に太鼓・笛と続き、毎年旧の2月18日をお祭りと定め、部落民の豊年・豊漁の祈願などやく病払いとして踊りながら部落を練り歩くものとされている。



↓ 軍ヶ浦十五柱神社太鼓おどり練習 ↑

